

R2年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒市体育施設（山麓公園テニスコート、TAC井出山スポーツパーク、生駒市体育協会高山S.C.を除く）						
所在地	生駒市門前町9番20号（生駒市体育協会滝寺S.C.）他						
指定管理者名	一般財団法人生駒市スポーツ協会	指定期間	開始日	令和	2年	4月	1日
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	令和	7年	3月	31日
選定方法	公募	評価実施年	指定期間	5年のうち1年目			
設置目的	市民の体育およびレクリエーション、生涯スポーツの振興など						
主な実施事業等	体育施設の使用許可、使用の制限、使用料の窓口徴収業務、体育施設の維持管理など						

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
グラウンド・野球場	人	356,000	137,502	72.3	新型コロナウイルスに伴う利用休止や制限のため
体育館・武道館・相撲場	人	310,000	133,182	53.0	新型コロナウイルスに伴う利用休止や制限のため
テニスコート	人	100,000	76,557	82.5	新型コロナウイルスに伴う利用休止や制限のため
プール	人	30,000	0	0	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開設せず

3 事業収支

		事業計画	事業報告（実績）	（参考）前年度実績
収入計	A	197,453,000	183,536,895	205,149,458
指定管理料		160,303,000	143,946,046	162,623,963
利用料金収入	C	36,500,000	35,651,193	38,876,660
自主事業収入			2,526,030	2,447,147
その他		650,000	1,413,626	1,201,688
支出計	B	196,803,000	177,004,204	203,372,840
指定事業費		196,803,000	172,316,044	196,123,611
うち人件費	D	75,100,000	68,723,414	65,521,147
うち再委託料	E	58,000,000	42,650,709	58,345,743
自主事業費			4,688,160	7249229
事業収支	A-B	650,000	6,532,691	1,776,618
利用料金比率	C/A	18.49%	19.42%	18.95%
人件費比率	D/B	38.16%	38.83%	32.22%
再委託費比率	E/B	29.47%	24.10%	28.69%
補足説明（必要に応じて記入）				
収入計の「その他」および支出計の「自主事業費」については7施設一体で算出のため、6施設で按分した金額です。				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置・その他（ ）
実施結果	意見内容等		対応実績等
	利用者に接遇、利用環境、管理運営についてアンケートを行ったところ、4段階評価中90%以上で普通または満足の評価を受けた。		備品の再確認や整備を行い、次年度の備品要求に反映をする予定。また、軽易に対応できるものについては速やかに改善を行った。

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
	施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）
	指定管理者による自己評価
	利用者のニーズをとらえ、安全かつ衛生的な環境で利用できるよう、利用者満足度の高い管理運営を行っている。
	市の評価 生駒市スポーツ協会にとって本指定管理は3期目の1年目であり、それぞれの施設の特性やニーズを把握し、それらを反映した管理運営がなされている。また、応募時の事業計画に則り、地元スポーツ協会ならではの利用者目線に立った適切な管理運営がなされた。
	市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）
	指定管理者による自己評価
	それぞれの利用者に合った、公正な管理運営を行っている。
	市の評価 市の受付事務の手引き等を遵守し、公平で適正な施設使用許可がなされている。また、市内他の体育施設指定管理者と連携・協力し、市民が利用しやすいよう、創意工夫がなされている。その他、施設の有効活用の観点から、施設利用の少ない時間帯については、目的外での使用等、積極的に市の方針に協力をされている。
	利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）
	指定管理者による自己評価
	利用者の満足度は概ね高いものの、備品の経年劣化や老朽化したものは順次、可能な範囲で入れ替えを行っている。
	市の評価 市のスポーツ振興の最も中心的な存在である（一財）生駒市スポーツ協会が指定管理者であるため、利用者の声を施設の管理運営に取り入れられていることはもとより、協会加盟29競技団体からの要望を、施設の管理運営面において素早く対応されているため、市への苦情や要望等も少なく、利用者の満足度は高いものである。
経費の縮減等の効果（効率性）	
	経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）
	指定管理者による自己評価
	滝寺S.C.をはじめ各施設のLED化等を推進し、電気料金の大幅な削減を実現した。
	市の評価 軽微な施設の修繕や備品の修理等は、管理者自らが行うなど経費の節減をされている。また、外部委託が必要となる業務については、業務内容を精査し委託業者と調整の上、経費節減を心がけるとともに、使用に影響のない範囲で、使用者に対してこまめな消灯や節水などの周知啓発もされており、環境への配慮を含め節減に努めておられる。自主事業である、滝寺S.C.体育館のLED化についても光熱費の大幅な節減に繋がり、高い評価をしている。
	収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）
	指定管理者による自己評価
	顧客満足度の高い運営を行い、施設の有効活用を進め利用料金増をはかる。また総合型地域スポーツクラブの収益増、自販機をはじめとした自主事業の増加を目指す。
	市の評価 利用者サービスとしての物品販売、自動販売機の設置など収入増加対策を講じられている。今後は、各管理施設独自での事業開催など、それぞれの地域の方々にも利用してもらえるような事業の展開も期待している。その他、現在の利用状況を見ながら、比較的空きが多い施設や時間などで、目的外使用や営利使用などでの施設活用を進め、利用料金の増加に努めてもらいたい。
適正な施設の管理運営（適正性）	
	施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）
	指定管理者による自己評価
	市内在住者で各施設必要な人員を適材適所に配置している。また、生駒市環境マネジメントシステムに沿った運用を行っている。
	協会加盟競技団体やいこ増ッスルクラブなど、市スポーツ協会の能力を生かした地域連携を行っている。
	市の評価 地元スポーツ協会が指定管理者であるため、市民を積極的に雇用されている。また、協会役員の中には、ECO-net生駒の関係者もあり、本市環境マネジメントシステムを熟知されているため、環境行動の取組については非常に高い評価ができる。なお、地元スポーツ協会でしか成しえない地域との連携で、各種事業を開催されている。
	自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）
	指定管理者による自己評価
	総合型地域スポーツクラブ「いこ増ッスルクラブ」で、各種教室を幼児から高齢者、障がい者までが参加できるプログラムを実施している。
	市の評価 自主事業の大きな柱である総合型地域スポーツクラブ「いこ増ッスルクラブ」の運営の中で、施設利用が少ない時間帯や曜日をクラブの教室等で有効に活用されている。なお、いこ増ッスルクラブの様々な事業展開の結果、子どもから高齢者、障がい者までのそれぞれのニーズに合ったスポーツがより一層推進されているため、今後の更なる活躍を期待している。
	安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）
	指定管理者による自己評価
	防災防火対応の専門知識を有する人材を雇用し危機管理マニュアルに沿って緊急時の連絡体制や役割分担を明確にし、有事の際に早急な対応可能な体制を整えている。また、個人情報を取り扱う窓口業務やいこ増ッスルクラブの会員管理については特に注意を払っている。
	市の評価 スポーツ活動には事故が起こる可能性が高いことや各施設が避難所になっていることから、防災防火対応の専門知識を有する人材の雇用については評価できる。また、普通救命講習会を開催するなど、利用者の安全確保を第一に考えた取組をされたことは高く評価できる。

サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	
指定管理者による自己評価	
令和2年度は黒字となったが、主にLED化による電気料金の削減によるものとなっている。今後も合理的なスキームを考案し収益の向上をはかる。	
市の評価	
前期から利用料金制を導入しており、年度によって施設の利用料収入に若干の違いが生じることが予想されるが、施設の有効活用や自主事業などで収入を増加させる努力をなされている。また、LED化を行ったことによる電気料金の削減がコロナ禍の中ではあるが、安定した運営に繋がったと感じる。今後は、施設の空き時間帯を利用した目的外使用や営利使用などの活用を進めるとともに、総合型地域スポーツクラブ「いこ増ッスルクラブ」の継続的な活動をはじめ、市民のスポーツ活動が促進されるような自主事業の展開を期待する。	

6 指定管理者の財務の状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
資産	20,078,148	25,044,549	45,308,721
流動資産	20,078,148	25,044,549	45,308,721
固定資産	0		
負債	23,500	535,800	2,028,800
流動負債	23,500	535,800	2,028,000
固定負債	0		
純資産	3,000,000	3,000,000	3,000,000
資本金	3,000,000	3,000,000	3,000,000
売上高	5,519,711	7,249,229	5,469,519
経常利益	-295,284	4,442,935	18,501,172

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
自己資本比率 純資産/資産×100	14.9%	12.0%	6.6%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	0.8%	17.9%	67.6%
固定比率 固定資産/純資産×100	0.0%	0.0%	0.0%
流動比率 流動資産/流動負債×100	85438.9%	4674.2%	2234.2%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	0.0%	0.0%	0.0%
総資産回転率 売上高/資産×100	27.5%	28.9%	12.1%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	-1.5%	17.7%	40.8%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価
利用者に安心して利用していただけるよう、職員のスキルアップをはかりどの施設でも均一かつ良質なサービスと満足度の向上をめざす。 財務状況については施設の空き時間帯を有効活用して利用者増につなげるほか、支出の見直しや収益事業の活性化、自主事業増などに取り組み、収入増をはかりたい。
市の評価
市内最大のスポーツ団体である（一財）生駒市スポーツ協会が指定管理者であることが、市内のスポーツ愛好家にとって、より良いスポーツ環境を作り出すことに繋がっていると考えている。なお、指定管理者として、3期目を迎えており、しっかりと利用者ニーズを把握されていることから、利用者目線に立った管理運営となり、多くの施設利用者に喜ばれている。また自主事業の中心的事業である総合型地域スポーツクラブ「いこ増ッスルクラブ」については、事業内容も年々充実してきているが、今以上に市や関係団体と連携・協力し、時代やニーズに合わせた事業を行い、健全なクラブとなるよう会員の増加を目指してもらいたい。